

一般会計歳出195億5163万6千円

40億(1人あたり10万円)円余の特別定額給付金、

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業
(5億2242万8千円)

・地域消費促進事業
【はえるん商品券】
(1億3630万7千円)



・公立学校情報機器整備事業
(1億4184万3千円)



各教室へ整備された児童生徒用端末及び端末保管庫

・他51事業

特別定額給付金事業 (40億2076万2千円)

給付対象者のうち申請者40,038名に対して1人10万円を給付し、家計の支援を行いました。



主要施策の成果に関する報告書

監査委員の要望事項

代表監査委員 稲福 清

議会選出監査委員 宮城 清政

*審査期間 7月1日～8月17日

一般会計・特別会計

【適切な事務処理を】

特定健診未受診者対策事業委託料の未払いがあった。業務の進捗管理や情報の共有等、日常のチェック業務を徹底されたい。また、全庁的な取り組みとして職員一丸の体制で事務処理等のミスを防ぐことを要望する。

【二括交付金の効果的な事業完了を】

一括交付金は、制度の趣旨・目的を踏まえ、効果的な事業として完了すること。

【国民健康保険医療費の軽減を】

国民健康保険特別会計は、現行の保健活動をさらに創意工夫し、町民への健康増進対策を一層強化し、保険給付費の抑制に努められたい。また前期高齢者財政調整制度に起因する赤字等については、財政支援措置を国・県に強く要望する。



特別・企業会計歳出58億1240万2千円

5億2千万余のコロナ対策

9月定例会

令和2年度決算を中心に審議し、意見を付け、5会計すべてを認定しました。
また、条例1件、補正予算6件、すべて全員一致で可決しました。
意見書5件を採択し、関係機関へ送付しました。

一般会計決算の概要

緊縮財政の中、令和2年度は、町民1人あたり10万円の特別定額給付金(総額40億380万円)、コロナ対策に5.2億円を新たに含む一般会計となった。

また、本町財政が抱える最も大きな課題である国民健康保険特別会計に、単年度赤字解消のため一般会計から1億5770万円を繰り出し、さらに、これまで経験したことのない新型コロナウイルス感染症の流行により、財政運営も大きな影響を受けた。

特別会計1点の意見を付し認定

認定第4号

令和2年度南風原町土地区画整理事業特別会計

区画整理地内の土地・建物の貸付について

区画整理地内の土地・建物の貸付については、地権者に不利益を与えていないか実態の調査と確認を行うこと。



令和2年度南風原町一般会計歳入歳出決算認定について



令和2年度決算審査意見書

会 計		歳 入	歳 出	歳入歳出差引額
一般会計		195億5163万6千円	193億4485万 円	2億 678万6千円
特別 会計	国 民 健 康 保 険	43億 232万3千円	42億6127万2千円	4105万1千円
	後期高齢者医療事業	3億2849万8千円	3億2655万1千円	194万7千円
	土地区画整理事業	5億7795万8千円	5億4018万2千円	3777万6千円
合 計		247億6041万5千円	244億7285万5千円	2億8756万 円

区分	収益的収入及び支出(3条予算)		資本的収入及び支出(4条予算)		翌年度へ繰越す財源
	収入	支出	収入	支出	
会計別					
公営企業会計(下水道事業)	6億2603万円	5億768万1千円	1億9522万2千円	3億3239万1千円	7879万円

令和2年度 一般会計
町民1人あたり約48万1千円使いました。

(令和3年3月31日現在人口 4万217人)

●主な項目ごとの内訳 ※()内は去年の数値です。

民生費 18万6441円 (18万2412円)	土木費 2万566円 (2万2385円)	総務費 14万5344円 (5万3172円)	教育費 5万927円 (5万2401円)
公債費 2万7714円 (2万6249円)	衛生費 2万3181円 (2万3989円)	消防費 1万2765円 (1万1830円)	農林水産費 2297円 (2444円)